

◆創刊号から最終号までの記事を電子化

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

Archives Unbound アーカイヴス・アンバウンド

南米を代表する文芸誌『スール』の電子版

SUR, 1931-1992

(Source Institution: Fundación San Telmo / Content: 41,450 pages)

FTE (学生数+教職員数)	5,000 以下	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001 以上
買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください			

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です

本コレクションは南米を代表する文芸誌『スール』の創刊号から最終号までの記事を電子化したものです。『スール』は1931年、アルゼンチンのブエノス・アイレスで創刊されました。創刊者はビクトリア・オカンポ。ブエノス・アイレス屈指の名家に生まれ、幼少の頃からフランス語や英語で教育を受け、パリなどヨーロッパ各地に遊学し、ヴァージニア・ウルフ、アンドレ・ジイド、ロジェ・カイヨワ、オルテガ・イ・ガセットら、ヨーロッパの作家や知識人との交友関係を築いたコスモポリタンな知識人です。オカンポは、これらの作家や知識人との交流を深める中で、ブエノス・アイレスで文芸雑誌を創刊することを思い立ちます。モデルになったのは『ヌーヴェル・ルヴュ・フランセーズ(新フランス評論)』、アンドレ・ジイドらが関わったフランスの文芸雑誌です。『スール』は、『ヌーヴェル・ルヴュ・フランセーズ』のような雑誌を南米でも作ろうとの構想の下に創刊されました。オカンポは、『ヌーヴェル・ルヴュ・フランセーズ』の他にも、オルテガが創刊したスペインの雑誌『レビスタ・デ・オクシデンテ』、T.S.エリオットが創刊したイギリスの雑誌『クライテリオン』などの同時代のヨーロッパの文芸雑誌を通じて人脈を築きました。オカンポの人脈をベースに、『スール』はヨーロッパや北米の文学を南米に紹介するとともに、アルゼンチンをはじめとする南米の作家が作品を発表する媒体としての役割を果たしました。中でもホルヘ・ルイス・ボルヘスと『スール』の関わりは深く、ボルヘスは後に『伝奇集』に収められる短編を初めとする作品を『スール』に発表したほか、外国文学を紹介する編集者としても抜群の能力を発揮しました。『スール』は、南米初のノーベル文学賞受賞作家であるチリのガブリエラ・ミストラルら、アルゼンチン内外の多くの作家に創作の舞台を提供し、20世紀後半に開花するラテンアメリカ文学の黄金時代を演出しました。『スール』が提供した話題は文学に止まらず、哲学、思想、音楽、絵画、建築など、人文・芸術全般に及びました。南米の文芸雑誌であるとともに、刊行時期がほぼ重なるイギリスの『リスナー』とともに、知識人の時代である20世紀を読み解く手がかりを与える雑誌でもあります。

『スール』は1971年まで定期的に(月刊もしくは隔月刊)刊行されましたが、それ以後は刊行が不定期になり、1992年に60年の歴史に幕を下ろしました。本コレクションは創刊号から最終号まで収録し、オリジナルの冊子のイメージで閲覧できるだけでなく、OCR処理をかけているため、全文検索が可能です。



第一級の学術研究史料をデジタル化！詳細は弊社まで

日本総代理店 極東書店

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp

